

当院健診センターにおける甲状腺スクリーニングの試み

○茂木 美希(富岡地域医療事務組合 公立富岡総合病院)

【目的】2011年3月11に起きた東日本大震災において、群馬県でも安中・妙義・下仁田の山間部を中心に放射性物質(I^{131})が降りそそいだことが報告されている。そこで放射線の影響による甲状腺癌発生が予測されたため、早期発見に努めるべく、当院健診センターにおいて甲状腺超音波スクリーニングを実施した。今回複数の所見を得られたので報告する。

【対象】2011年7月～2013年2月の間に当院健診センターにおいて7279名(男性4171名、女性3108名)に超音波甲状腺検査を実施した。測定装置は東芝メディカル社製のXario SSA-660A、プローブは8.0MHzを使用した。また、悪性を疑われる腫瘍に対し、外科にて針生検、穿刺吸引細胞診を行った。

【結果】表1. 受診者の性別・年齢割合(%)

性別	総数(人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳以上
男性	4171	11.0	27.9	33.2	27.9
女性	3108	12.9	28.0	34.1	25.0

表2. 性別および年齢別における有所見率

性別	所見	総数(%)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳以上
男性	cystic	505(12.1)	40(8.7)	105(9.0)	161(11.6)	193(16.6)
	充実性	374(9.0)	10(2.2)	81(7.0)	140(10.1)	136(11.7)
女性	cystic	668(21.5)	54(13.5)	157(18.0)	221(20.9)	220(28.4)
	充実性	566(18.2)	34(8.5)	129(14.8)	205(19.4)	184(23.7)

びまん性病変として甲状腺腫大は1.23%(男性0.77%, 女性1.86%), 甲状腺萎縮は0.25%(男性0.14%, 女性0.39%)に認められた。また、充実性腫瘍のうち、悪性が疑われた所見に対し精査が行われ、良性疾患が39例(0.54%)であり、男性21名(0.50%), 女性18名(0.58%)であった。悪性腫瘍として乳頭癌が8例(0.11%)であり、男性4名(0.10%), 女性4名(0.13%)であった。

【結語】悪性腫瘍をはじめとする複数の疾患が発見されたことから健診センターにおける甲状腺スクリーニングは意義のあるものと考えられる。今後も引き続き実施し、検討していきたい。

連絡先 0274-63-2111